

福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会
第 5 回建設専門部会 会議概要

1 .開催日時	平成 1 9 年 1 0 月 1 8 日 (木) 1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 4 0
2 .開催場所	大阪市環境局舞洲工場 小会議室 (視察先で開催)
3 . 出席者	(正副部会長以外は五十音順) 松藤康司部会長、浦邊真郎委員、包清博之委員、槇田裕之委員、村山博俊委員
4 . 欠席者	神野健二副部会長
5 . 議 題	報告 1 福岡都市圏南部可燃ごみ処理施設の基本コンセプト 報告 2 中間処理施設の稼働状況・維持管理実態調査業務委託 議題 1 中間処理施設の稼働状況・維持管理に関する評価指標 (案) 議題 2 今後のスケジュール

報告 1 福岡都市圏南部可燃ごみ処理施設の基本コンセプト
【協議内容】 ●基本コンセプト(案)について、他都市や過去の事例とあわせて協議し、問題ないことを確認した 適正で安定的な処理・処分 信頼性と安全性の確保 エネルギーの効率化を含む環境への配慮 環境教育や啓発に向けた環境情報発信施設

報告 2 中間処理施設の稼働状況・維持管理実態調査業務委託
【協議内容】 ●事務局より本委託業務の状況を報告 契約の相手方：大阪市環境事業協会 履行期間：H19.9.14～12.25

議題 1 中間処理施設の稼働状況・維持管理に関する評価指標（案）

【協議内容】

中間処理方式の処理方式を検討するにあたり、各種の中間処理方式を評価するための指標(案)を以下のとおりとする。

- 前提条件として、次の3項目を設定する

施設規模：上限600t/日とする

建設手法：新設とする。（現行建屋を利用するプラント入替は困難であるため。）

炉構成：2基以上とする

- 評価対象については、可能性のある全ての中間処理方式を対象とする

- 評価の指針を次の通りとする

適正で安定的な処理・処分

信頼性と安全性の確保

エネルギーの効率化を含む環境への配慮

経済性

評価方法として、評価項目を全て満足出来るものを可とするハードル方式と評価項目に評点、順位をつけ、その結果で評価する評点方式を組み合わせ、評価を行う。

- ハードル方式の評価項目を次の通りとする

建設用地に収まること

現行ごみ収集方式で処理できること

稼働実績が十分あること

県・市・町・組合の方針遵守

- 評点方式については、大項目の重み付けを次の通りとする。

「適正で安定的な処理・処分」を30/100

「信頼性と安全性の確保」を30/100

「エネルギーの効率化を含む環境への配慮」を20/100

「経済性」を20/100

37の小項目を、3段階評価（優れている：5点、普通：3点、劣っている：1点）とする。

議題 2 今後のスケジュール

【協議内容】

- 今後のスケジュールとして、次の通り了承した

中間処理施設勉強会を10月30日、31日及び11月22日に開催する

第6回専門部会を12月20日に開催する